

各 位

盛岡信用金庫

第15回経営者環境力大賞（認定NPO法人環境文明21主催）に係る
当金庫理事長の受賞について

盛岡信用金庫（理事長 浅沼 晃）は、明治36年1月の創立以来「共存同栄」（地域に根差し、地域と共に発展する）の精神のもと、120年の永きにわたり、利益の最大化ではなく、社会課題の解決を使命に取り組んでまいりました。

当金庫では、令和2年6月に公表した「SDGs宣言」に基づき、「経済」「社会」「環境」の3つの柱を軸に持続可能な社会の実現に向け取り組んでおります。

こうした中、認定NPO法人環境文明21が主催する「第15回 経営者環境力大賞」を当金庫理事長が受賞いたしました。

本賞は、事業活動を通じ持続可能な社会の実現に向けて、経営者自身が、環境面・経済面に加え、人間・社会システムを変革する総合力（環境力12項目）を評価いただいたものであります（※詳細は別添参照願います）。

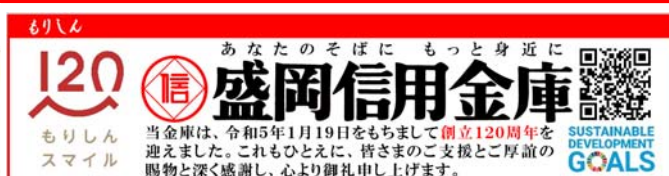
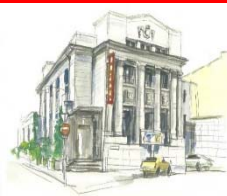
今後につきましても、本賞を励みとし、サステナブルな未来に向かって、SDGs・ESGの更なる推進体制強化を図るべく、全役職員一丸となって取り組むとともに、自治体や企業の皆さまとパートナーを組み、地域金融機関としての役割を果たしていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

盛岡信用金庫 企画部

（担当：高木）

電話番号：019-623-2221



受賞者の声

林 英夫 様 武州工業株式会社 相談役 (2013年度受賞)

サプライチェーン全体で環境に優しいものづくり

環境意識の高まりでSDGsが語られない日が無くなりました。「緑の地球」を次の世代に残せるか、この10年が大切です。幸いESG投資が大企業を動かし、グリーン調達という考え方が定着しつつあります。材料の調達から製品づくりの各工程でどれだけ環境に優しいものづくりをしてきたか問われるようになってきました。無理難題を抱えながらの取引がなくなりフェアな時代がやってきたと思います。DXで一つ一つデータを積み上げお客様を説得できる「ムリムダムラ」のない環境に優しいものづくりをしていきましょう。



これまでの受賞者 (敬称略)

2021年度 (令和3年度) 第14回

大熊英樹 株式会社大熊工業
岡本正昭 株式会社セラテックエンジニアリング
川合誠治 メトロ電気工業株式会社
柴芳郎 ゼネラルヒートポンプ工業株式会社
森弘吉 株式会社エムダイヤ
若林和憲 株式会社若林商店

2020年度 (令和2年度) 第13回

加山順一郎 加山興業株式会社
千葉智 株式会社フーゲツ
西村司 株式会社流機エンジニアリング
浜野慶一 株式会社浜野製作所
村田弘司 株式会社日吉
山田博文 ヤマダインフラテクノス株式会社
【奨励賞】坂本昇 (雪ヶ谷化学工業株式会社)

2019年度 (令和1年度) 第12回

青山裕史 油藤商事株式会社
堂上勝己 梅南鋼材株式会社
永野仁士 東阪電子機器株式会社
村上尊宣 株式会社エコファクトリー
【奨励賞】福寿満希 (株式会社LORANS.)

2018年度 (平成30年度) 第11回

蘆田健司 協立機電工業株式会社
坂本将之 ホットマン株式会社
杉本亨 株式会社オリエンタル工芸社
須山政樹 須山木材株式会社
松江昭彦 株式会社ユニパック
丸山晃司 株式会社OKUTA

2017年度 (平成29年度) 第10回

稲場純 株式会社リガルジョイント
加藤宣行 加藤商事株式会社
高橋巧一 株式会社日本フードエコロジーセンター
寺田雅一 株式会社寺田鉄工所
鳥原久資 株式会社マルワ
野村進一 千葉オイレッシュ株式会社

2016年度 (平成28年度) 第9回

石井直樹 石井造園株式会社
井上幸雄 株式会社ワイ・ケー電子
芹田章博 株式会社セリタ建設
高橋範行 上毛緑産工業株式会社
高丸慶 株式会社ホスピタリティ・ワン
高見澤友伸 株式会社コスモテック
松本一郎 松本工業株式会社
谷島賢 イーグルバス株式会社

2015年度 (平成27年度) 第8回

白井麻紗社 日本ウエストーン株式会社
高橋誠 東新プラスチック株式会社
西尾智之 株式会社西尾硝子鏡工業所
本杉彰 有限会社本杉工機

2014年度 (平成26年度) 第7回

会川文雄 会川鉄工株式会社
大久保雅生 株式会社西日本ファーム
大田禎之 株式会社アキテック
大場龍夫 株式会社森のエネルギー研究所
小松和史 三友プラントサービス株式会社
紺野道昭 株式会社こんの
白石昇央 福島ミドリ安全株式会社

2013年度 (平成25年度) 第6回

池田治子 株式会社エコトラック
石川武 三共精機株式会社
尾崎俊也 アースサポート株式会社
長澤利久 株式会社はくばく
林英夫 武州工業株式会社
福田章一 株式会社ウェルシィ

2012年度 (平成24年度) 第5回

大川哲郎 株式会社大川印刷
金坂良一 カネパッケージ株式会社
近藤亮介 新和環境株式会社
谷學 グリーンブルー株式会社
野老真理子 大里総合管理株式会社
鳥波益男 東海サーモエンジニアリング株式会社
山崎保彦 株式会社北陽商会
【奨励賞】 2名

※2011年度以前の受賞者についてはHPでご確認いただけます。

第15回 経営者 環境力 大賞

応募締切：2022年11月25日(金)

募集対象 中小・中堅企業の経営者の方々

主催 認定NPO法人環境文明21 後援 環境省

協賛 西武信用金庫 株式会社カンサイ 公益財団法人SOMPO環境財団 武州工業株式会社
株式会社リガルジョイント リマテックホールディングス株式会社 (50音順)

環境経営の巧者が集う経営者「環境力」クラブ 勉強会、相互交流、「環境力」の発信など▶▶詳しくは環境文明21WEBで
本章の趣旨に賛同、支援して下さる協賛者の方々に広く募集しております。また寄付も承っております。
協賛・寄付に関するお問い合わせは、認定NPO法人環境文明21事務局まで。 HP: <http://www.kanbun.org/>

メッセージ

未来を切り拓く経営者の「環境力」

地球環境が急速に悪化し、異常気象の頻発、生物多様性の喪失、さらに新型コロナウイルス感染拡大も加わり、私たちの暮らしや経済活動にも危機的様相が忍び寄っています。そうした中であって、これら兆候をいち早く察知し、脱炭素を含む環境対策その他必要な対策を取り、経営全般の前進に繋げている「環境力」あふれる経営者が始まっています。「環境力」ある経営者は、経営効率を向上させ、従業員のやる気や誇りを高めるとともに、持続可能な社会に貢献するビジネスを展開しています。この大賞の受賞者がその証拠です。

本賞が掲げる「環境力」とは、事業を変革し、経済・社会の持続可能性を高める「総合的な力」をいいます。経済と環境の一体化をどう実現するのか。企業市民として社会課題にいかに向き合うのか。とりわけ、中小企業では経営者自身の感度やリーダーシップがより重要といえます。

—昨年環境省の後援も頂いております。素晴らしい環境力あふれる経営者からのご応募を心からお待ちしています。

環境文明21 代表 藤村／顧問 加藤



「環境力」12項目

下記の「未来をリードする経営者の資質12項目」を意識した経営を実践されている中小・中堅企業の経営者が募集対象です。

- 1 情報を公開し、公正な経営に率先して取り組む勇氣
- 2 100年先を見通した中長期的な企業価値を設定し、その価値を浸透させる情熱と達成する戦略性
- 3 国内外の時代の潮流を洞察し、先取りする力
- 4 他社とも協働して、社会に対する責任を果たそうとする意志
- 5 地域社会との交流を大切にし、その伝統や文化を尊重する意思
- 6 経済と環境を一体化しようとする意志
- 7 働くことの価値を認め、自社で働く全ての人々の働く意欲を高める力
- 8 事業を大きくしすぎない勇氣
- 9 科学を理解し、経営に活かす力
- 10 技術やサービスの動向を常に把握し、経営の発展に繋げる力
- 11 人知の及ばない大いなるものへの畏敬の念
- 12 NPOを含む全てのステークホルダーとコミュニケーションをとる力

未来をリードする経営者

スケジュール



環境力とは ▶▶▶▶

環境の現実と未来とを科学に基づいてしっかりと見つめ、対応戦略を練り、環境面・経済面だけでなく、人間・社会システムを変革する総合力です。

先見性と
知恵

環境の未来を
直視する

戦略性と
技術力

経営戦略に
組み込む

社会的
責任

公平・公正の
感覚

応募要項

1. 目的

近年、地球環境問題は深刻さを増し、私たちの生活環境も悪化を続けています。このような状況を食い止め、未来へと続く持続可能な社会を構築していくためには、個人や行政のみならず、企業が果たす役割への期待も大きくなっています。

「経営者『環境力』大賞」は、より多くの企業の環境対策を推進し、産業界全体の「環境力」を底上げしていくことを目指して2008年に創設されました。「環境力」ある中小・中堅企業経営者を全国から募集し、その企業経営に対する思いや考え方、事業活動を多くの方に知っていただくため毎年実施している顕彰制度であり、環境文明21の会報、ウェブサイト、環境新聞などにてご紹介して参りました。これまでに87名の経営者に賞を授与し、今年で15回を迎えます。

経済と環境、社会の一体化をめざしてご活躍の経営者の皆様のご応募を心よりお待ちしております。

2. 応募資格

中小・中堅企業の経営者（代表者に限らず、取締役、執行役員など企業経営に責任を担う役職者を含む）

※経営する業種・業態は問いません。過去には、金融・保険業、卸売・小売業、コンサルティング業、廃棄物処理業、農林水産業、飲食・宿泊業、介護業、運送業など、幅広い業種の経営者が受賞しています。
過去の経営者「環境力」大賞受賞者の情報は環境文明21のウェブサイトからご覧いただけます。

3. 応募方法

私たちが提案している12項目に即してご自身の「環境力」を自己評価していただき、その結果と、評価理由書、企業経営に関連する資料をお送りください。（様式はウェブサイトダウンロード）

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

環境力大賞ウェブサイト：<http://www.kanbun.org/kankyouryokutaisyou/index.html>

《必要書類》

- ① 応募申請書
- ② 自己評価シート
- ③ 自己評価シートの評価理由書
(各項目100～200字程度)
- ④ 会社概要、経営者のプロフィール
- ⑤ 根拠となる資料

※ご提出いただいた申請書類は本賞の審査においてのみ使用し、応募者の許可なく外部に公表いたしません。
※ただし、受賞者につきましては、応募申込書に記載された内容の一部をウェブサイト上で公開します。公開する内容については、ウェブサイトをご確認ください。
※電子メールに添付出来ない資料については郵送してください。その際、費用は自己負担とさせていただきます。
※提出された書類等は返却いたしません。
※応募、受賞に費用は一切かかりません。

4. 応募期間

応募開始：2022年 9月 1日(木)

応募締切：2022年11月25日(金)

5. 発表・顕彰

発表：選考結果は表彰式当日に先立ち、環境文明21HPにて発表します。

顕彰：受賞した経営者の方には、表彰状を贈呈いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、ヒアリング、顕彰式はオンラインとなる可能性があります。



2018年度顕彰式

応募・お問い合わせ先

認定NPO法人 環境文明21 経営者「環境力」大賞 事務局

〒145-0071 東京都大田区田園調布2-24-23-301

Tel : 03-5483-8455 Fax : 03-5483-8755 E-mail : info@kanbun.org

